環境経営レポート

エコアクション21

第 12 号（対象期間　2020 年 1 月～12 月）

2021 年 6 月 15 日発行

認証・登録番号 0004618

１．環境経営方針

平成 31 年 1 月 7 日

平野通信機材株式会社の環境方針

環境基本理念

平野通信機材株式会社は、法人としての環境保全の重要性を強く認識し活動します。
情報通信機器、通信用工事材料、ネットワーク配線機材の商社として、新しい通信インフラ創生による環境低負荷化、省エネルギー化で社会に貢献します。

環境経営方針

私たちは、その事業活動が環境に及ぼす影響を継続的に改善し、対外的には環境低負荷商材の推進を行うべく以下の行動に取り組みます。

① 環境保全に関する法令を遵守します。
② 事業活動における電気、ガス、水、自動車燃料、その他の使用量削減を図り、省エネルギー活動を推進します。
③ 紙・ダンボール･木製品・金属等の廃棄物の削減とリサイクルを進めます。
④ 環境低負荷素材を用いた通信機材、ネットワーク機材の販売・促進を通じ、お客様の省エネルギー活動推進をサポートします。
⑤ すべての従業員の環境意識を維持・向上させるべく定期的に環境教育を実施します。
⑥ 環境経営の継続的改善を図ります。

平野通信機材株式会社
代表取締役　宇敷敏男

２．事業の概要

（１）事業者名

平野通信機材株式会社　　代表取締役　宇敷敏男

（２）所在地

東京都中央区入船 2-2-14

（３）環境保全関係の連絡先

環境管理責任者　鈴木馨　　担当者　髙塚智仁

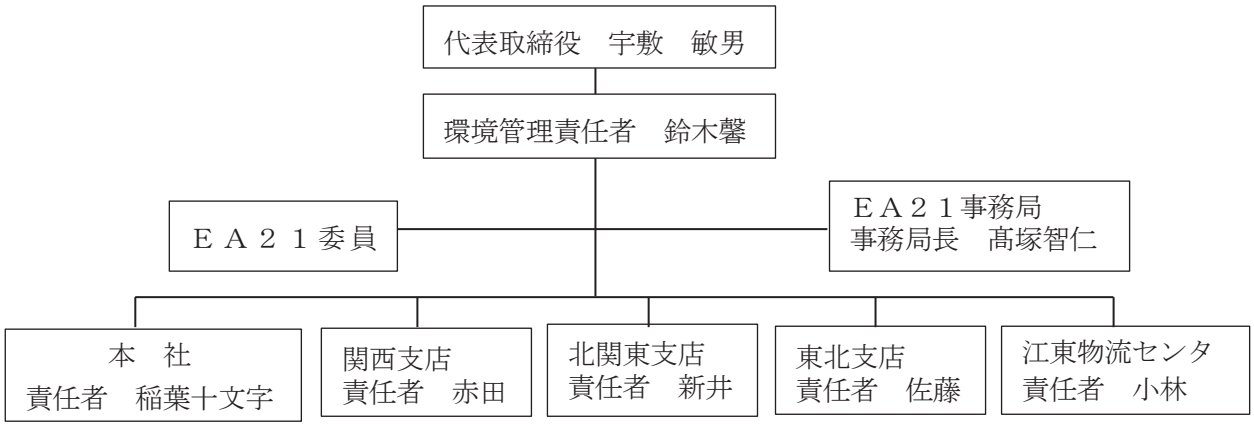
（４）企業の規模　従業員数：95 人（事業所を含む）

（５）認証登録の範囲：全組織・全活動を対象とする

			事業所延床面積
本社	〒104-0042	東京都中央区入船2-2-14	（817 ㎡）
関西支店	〒531-0072	大阪府大阪市北区豊崎 5-3-23	（110 ㎡）
北関東支店	〒331-0812	埼玉県さいたま市北区宮原町 2-87-1	（111 ㎡）
東北支店	〒984-0051	宮城県仙台市若葉区新寺 3-5-40	（119 ㎡）
江東物流センター	〒131-0041	東京都江東区佐賀 1-14-13	（1,211 ㎡）

（６）事業内容　情報通信機器、ネットワーク関連システム等販売

（７）実施体制



役　職	役割、責任・権限
代表者	・経営における課題とチャンスを整理明確化　・環境経営方針、実施体制の制定 ・環境経営に必要な資源の用意　・環境経営全体の評価、見直し指示
環境管理責任者	・環境経営目標、環境経営計画の作成、承認及び社内周知 ・ＥＡ２１活動結果全体のとりまとめ承認及び代表者への報告
ＥＡ２１委員会	・ＥＡ２１活動に関する協議、意見交換
ＥＡ２１事務局	・環境管理責任者の補佐　・ＥＡ２１活動に関する事務
部門責任者	・環境経営方針、環境経営目標、環境経営計画内容の部門内周知 ・部門内ＥＡ２１活動の実施指揮及び部門内ＥＡ２１活動結果のとりまとめ
従業員	・環境経営目標、環境経営計画等に基づくＥＡ２１活動の実施

3. 環境経営目標及び当年度実績・目標達成評価

向こう３年間の環境経営目標及び当年度実績・目標達成評価は以下の通りです。

〔※凡例〕○目標達成　×目標未達成　実績値/目標値%

項目		排出係数	単位	基準年	環境経営目標			2020年度実績	
				2014年度実績	2020年度	2021年度	2022年度	実績値	※達成評価
電気使用量の削減		—	削減率	—	基準値比0%	基準値比0%	基準値比0%	—	
			kwh	211,992	211,992	211,992	211,992	219,698	×
			Kg-CO_2	103,138	103,138	103,138	103,138	106,630	103.6%
化石燃料使用量			削減率	—	基準値比5%	基準値比5%	基準値比5%	—	
	ガソリン使用量の削減	2.32	ℓ	14,056	13,378	13,378	13,378	7,364	○
			Kg-CO_2	32,610	32,610	32,610	32,610	17,084	55%
	都市ガス使用量の削減	2.16	Nm^3	142	134	134	134	13	○
			Kg-CO_2	306	290	290	290	28	9.7%
	灯油使用量の削減	2.49	ℓ	538	511	511	511	0	○
			Kg-CO_2	1,340	1273	1273	1273	0	
二酸化炭素排出量削減			Kg-CO_2	137,394	135,680	135,680	135,680	123,743	○ 91.2%
廃棄物排出量	一般廃棄物(焼却)		Kg	—	排出量の把握	排出量の把握	排出量の把握	1,070	○
	一般廃棄物(リサイクル)		Kg	—	リサイクル推進	リサイクル推進	リサイクル推進	1,263	○
	産業廃棄物(最終処分))		Kg	—	排出量把握適正処分	排出量把握適正処分	排出量把握適正処分	0	○
	産業廃棄物(リサイクル)		Kg	—	資源リサイクル推進	資源リサイクル推進	資源リサイクル推進	10,947	○
リサイクル率の向上				—	60%以上	60%以上	60%以上	92%	○
水使用量の削減			削減率	—	基準値比3%	基準値比3%	基準値比3%		
			m^3	788	764	764	764	636	○
環境配慮製品情報発信				—	顧客への情報提供	顧客への情報提供	顧客への情報提供	積極実施	○

※電気使用量排出係数　本社・江東物流センター　：㈱東急パワーサプライ　排出係数 0.491

関西支店・北関東支店　：㈱エネット　排出係数 0.442

東北支店　：東北電力㈱　排出係数 0.523

４． 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

環境目標項目		具体的取組内容	推進責任者	取組結果と評価	次年度の取組内容
二酸化炭素排出量削減	電気使用量の削減	・業務時間外の部分消灯 ・空調機器の適正温度調整使用	本社各支店責任者	電気使用量は業務多忙のため僅かに目標達成できず。	現行の取組みを継続
	化石燃料使用量の削減	・車輌のエコドライブ励行	同上	ガソリン使用量は低燃費車輌への更新により大幅に目標を達成できた。	同上
廃棄物資源リサイクル	一般廃棄物排出量の削減	・ＯＡ古紙、雑誌、新聞等リサイクル ・ダンボールの再利用及びリサイクル処理	同上	一般廃棄物の分別収集を徹底しリサイクル処理を推進した。 リサイクル率54%	同上
	産業廃棄物排出量の削減	・廃プラ類、木くず、金属くず類のリサイクル資源化 ・カタログ類のリサイクル	同上	産廃物は再利用及び分別リサイクルにより産廃として処分するものは無かった。	同上
水使用量の削減		・生活用水の節水に努める ・トイレ用水の節水	同上	水使用量は、節水活動により大幅に目標をクリアした。	同上
環境配慮製品の情報発信		・通信機材は極力環境配慮品を選定してお客様に提供する。 ・省エネ効果のある製品の販売によりお客様の省エネに貢献	同上	情報通信機器、ネットワーク関連機器の省エネ性能製品を積極的に販売した。	同上

〔次年度の取り組み内容〕

物流センターのエレベータとキュービクルの更新を行います。この更新により老朽化由来の消費電力ロスをある程度改善できるものと考えます。また、物流センター内に一部採用しているLED照明設置の範囲を拡げていくことを検討します。

帳票の電子保存や電子申請方式の範囲を拡げ、より一層のペーパーレス化を推進していきます。また、「照明ルール」「空調ルール」については継続して徹底していきます。

５．環境関連法規への違反、訴訟等の有無

（１）適用となる主な環境関連法規

①廃棄物の処理及び清掃に関する法律、施行規則

東京都条例　　都民の生活環境の保全等に関する条例

各条例　　産業廃棄物等の適正な処理及び資源化の促進に関する条例

廃棄物の減量及び適正処理に関する条例

要求事項　　廃棄物の適正処理、発生抑制、再資源化推進、

産業廃棄物収集運搬、処分業者との委託契約

マニフェスト管理と、管理票交付状況報告（電子マニフェストに移行済）

② 省エネ法、資源の有効な利用の促進に関する法律（リサイクル法）など

（２）違反、訴訟等

環境関連法規の違反はありません。なお関係当局よりの違反等の指摘は過去３年間ありません。

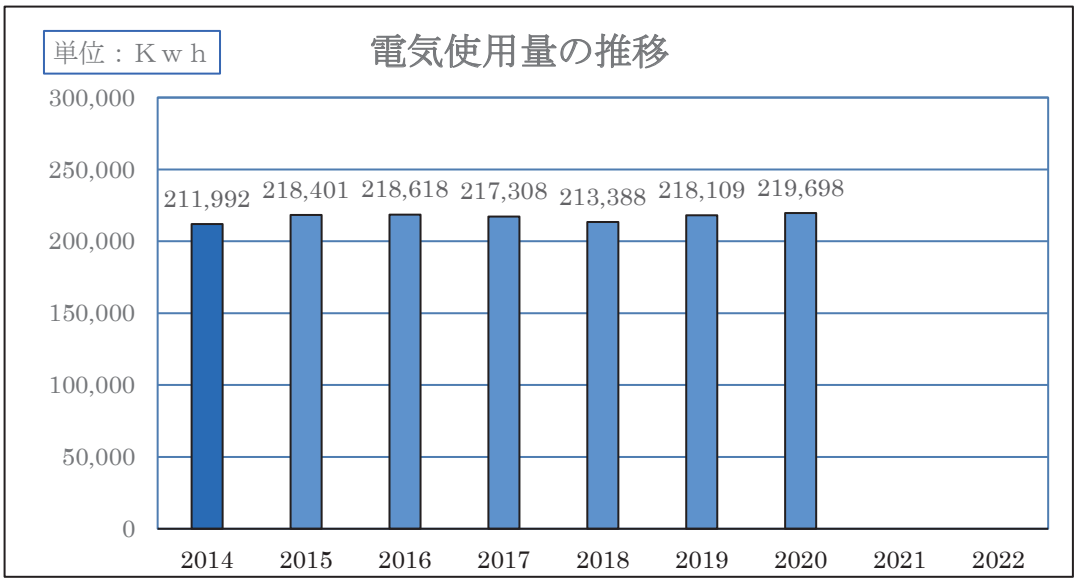
６．代表者による全体の評価と見直しの結果

年間を通してコロナ禍の影響により様々な状況が変化しました。
間断的なテレワークの導入により一定のエネルギー消費量は減じたものの、出社人数の大幅な減により対人率において大幅な効率の低下を見ることとなりました。
また、空調の利用については、暖房・冷房とも窓を開けて換気を行う中で、かなり非効率な電力消費を余儀なくされたと思われます。とは言え「2014 年度の実績維持」は概ね達成出来ました。

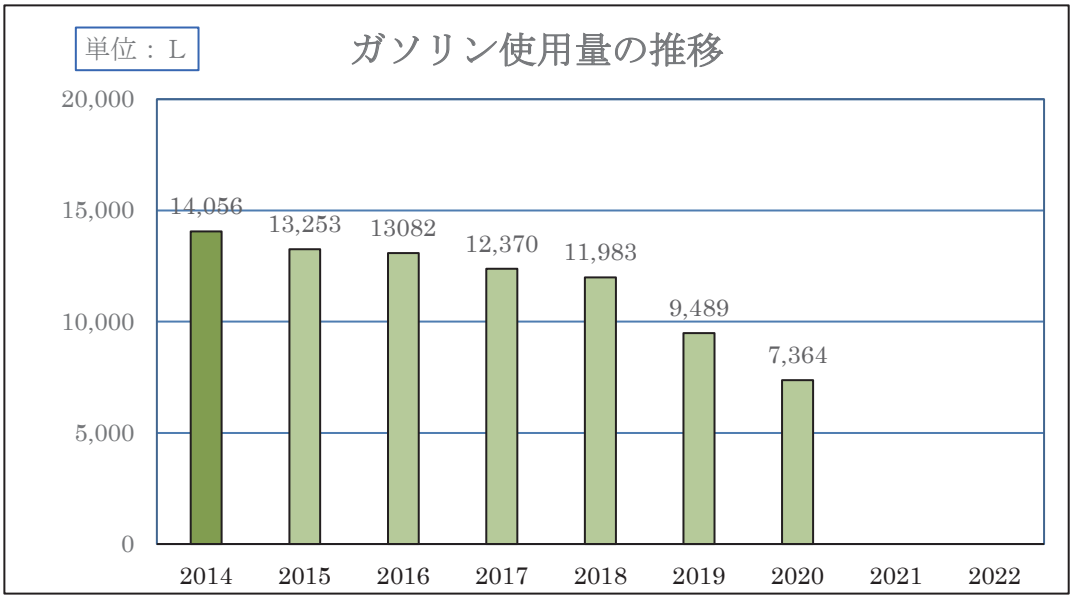
年央に全事業所の複合機を交換するにあたり、受信した FAX について必要のない場合は紙に出力しないルールを取り決めた為、圧倒的に紙の使用量を減ずることが出来ました。また送信の際も PC→複合機経由での送信をルール化した為送受信とも同様の効果を得ることが出来ました。

年度後半には、大量のエビデンス量を要する各種申請の一部をグループウエア内の電子申請方式に変更しました。これにより圧倒的なペーパーレス化が可能となりました。

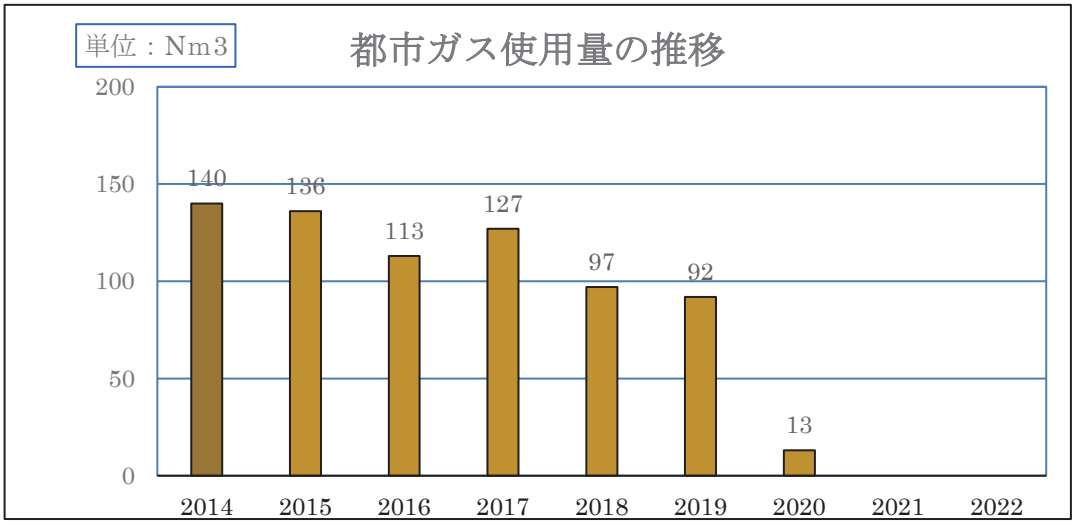
7．年度環境負荷データの推移



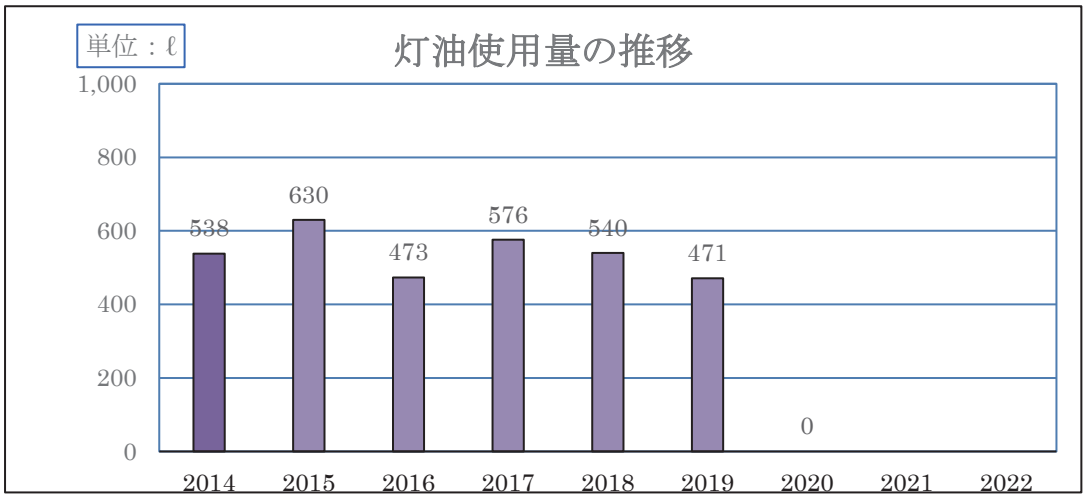
2020 年度
コロナ感染予防のため空調換気の運転が増加した。



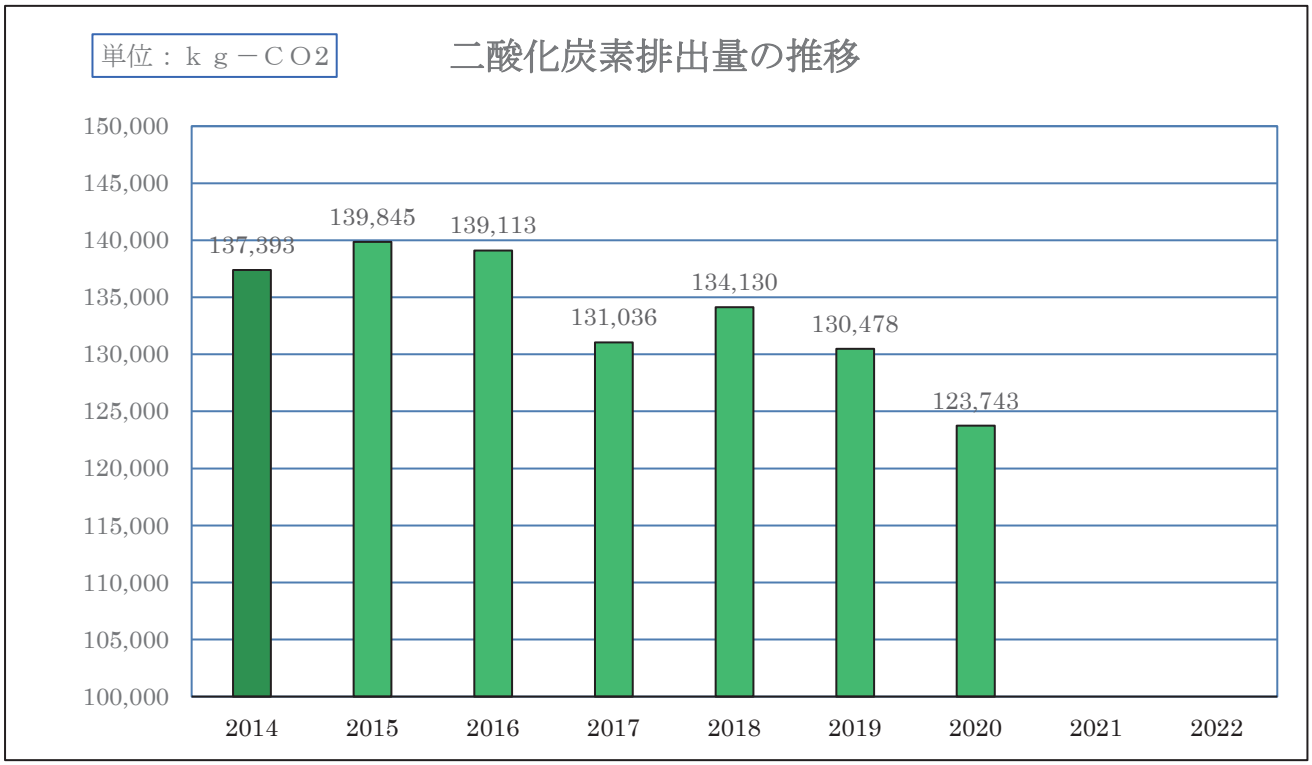
2020 年度
・低燃費車を導入した。
・コロナ感染症の影響で営業外出を控えた。



2020 年度
江東物流センターの使用がなくなった。



2020 年度
東北支店における灯油の使用がなくなった。



2020 年度
営業車輌の燃料使用削減等により二酸化炭素排出量は、
前年比 4.5%低減できた。